

中間決算説明会

平成19年（2007年）3月期

株式会社ケンウッド
代表取締役社長 兼 CEO
河原 春郎

2006.11.10

目次

1. 2007年3月期中間決算ハイライト
2. 2007年3月期中間決算概要
3. 2007年3月期の取り組み
4. 2007年3月期業績見通し

【注意】

本資料中の将来への見通しに関する記述・図表などは、当社グループが現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想および目標であり、実際の結果は、様々な要素により、これらの見通しとは大きく異なる可能性があります。

【資料中の略語】

CE :カーエレクトロニクス COM :コミュニケーションズ HE :ホームエレクトロニクス

1. 2007年3月期中間決算ハイライト

1. 2007年3月期中間決算ハイライト

(1) 2007年3月期中間決算総括

売上高	前期比9.3%の減収
営業利益	売上減、戦略開発投資により前期比9.9%減益も 期初予想を上回る
経常利益	前期の資産構造改革の効果で前期比22.7%増益
中間純利益	前期の一過性特別利益がなくなり前期比56.7%減益

(億円)

	'05/9期	期初予想	修正予想 (10/13付)	'06/9期
売上高	901	850	820	817
営業利益	35	28	32	32
経常利益	15	20	20	19
中間純利益	29	15	16	13

1. 2007年3月期中間決算ハイライト

② 事業競争力強化は期初計画通りに進展

CE事業

市販 (オーディオ) 分野

- * 2006年モデルの本格展開
- * 2007年モデルの製品ラインアップ拡充

市販 (マルチメディア) 分野

- * 自社開発ナビ群、海外向け新概念ナビの本格展開
- * ワンセグ (1セグ) 12セグ + 1セグ放送対応モデルの商品化

OEM分野

- * 上海工場での増産と生産移管によるコスト競争力の強化

COM事業

- * 米国、欧州、新興市場で業務用無線機器分野を拡大

HE事業

- * ポータブルオーディオ、ピュアオーディオの各分野で、戦略開発による高音質モデル群の商品化

2. 2007年3月期中間決算概要

2. 2007年3月期中間決算概要 **連結損益**

【売上高】

前期比約84億円減 (9.3%減収)

【営業利益】

前期比約3億円減 (9.9%減益) 期初予想比約4億円増 (13.8%増)

【経常利益】

前期比約3億円増 (22.7%増益)

【中間純利益】

前期比約16億円減 (56.7%減益) 修正予想比約3億円減 (21.7%減)

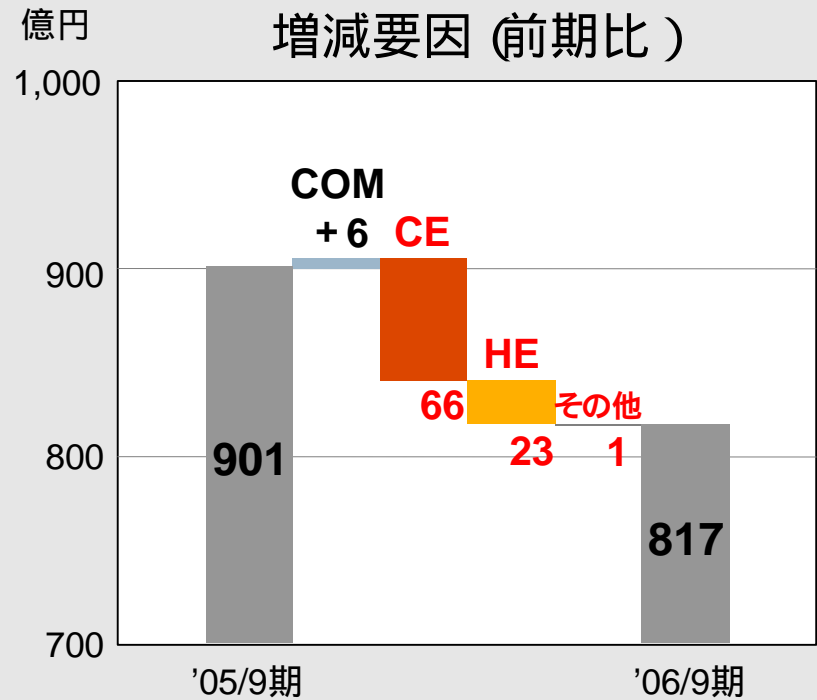
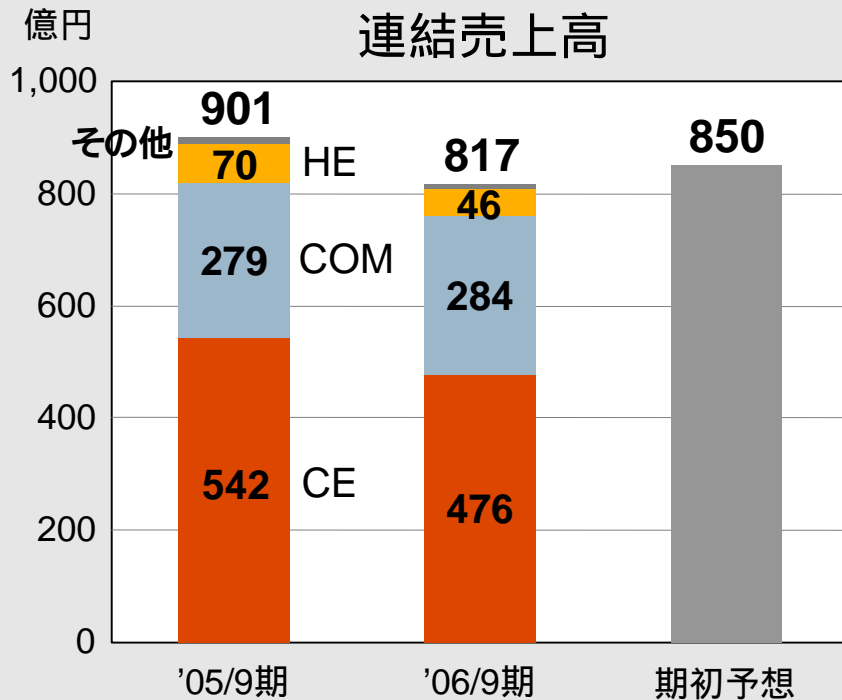
連結PL

(億円)

	'05/9期		期初予想		修正予想 (10/13付)		'06/9期	
		利益率		利益率		利益率		利益率
売上高	901		850		820		817	
営業利益	35	3.9%	28	3.3%	32	3.9%	32	3.9%
経常利益	15	1.7%	20	2.4%	20	2.4%	19	2.3%
中間純利益	29	3.2%	15	1.8%	16	2.0%	13	1.5%

2. 2007年3月期中間決算概要 **連結売上高**

- * COM事業は増収ながら、CE事業およびHE事業が減収
 全社では前期比約84億円減 (9.3%減収)
 期初予想比約33億円減 (3.9%減)はCE事業の減収が主要因

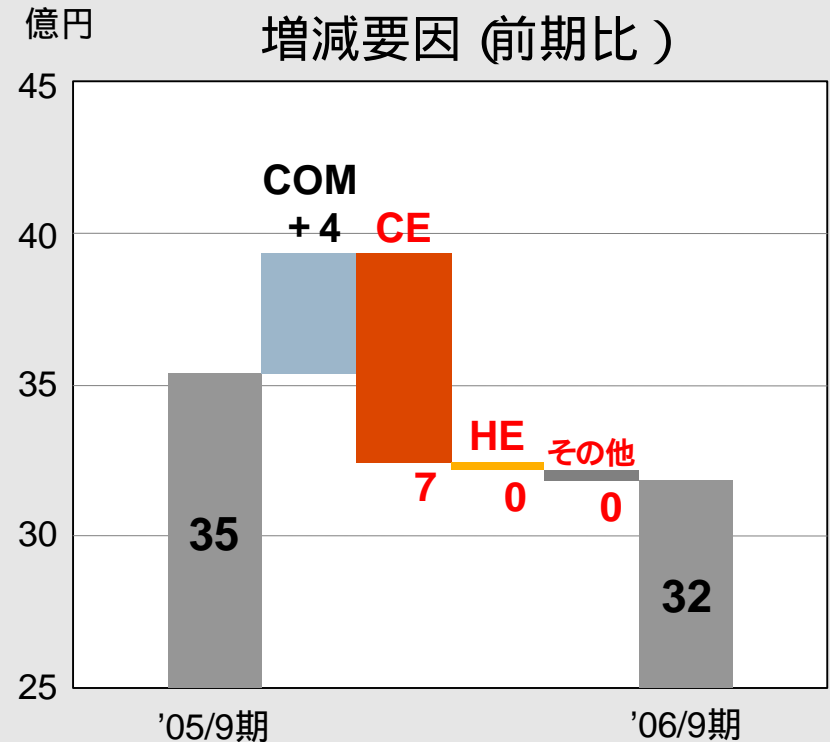
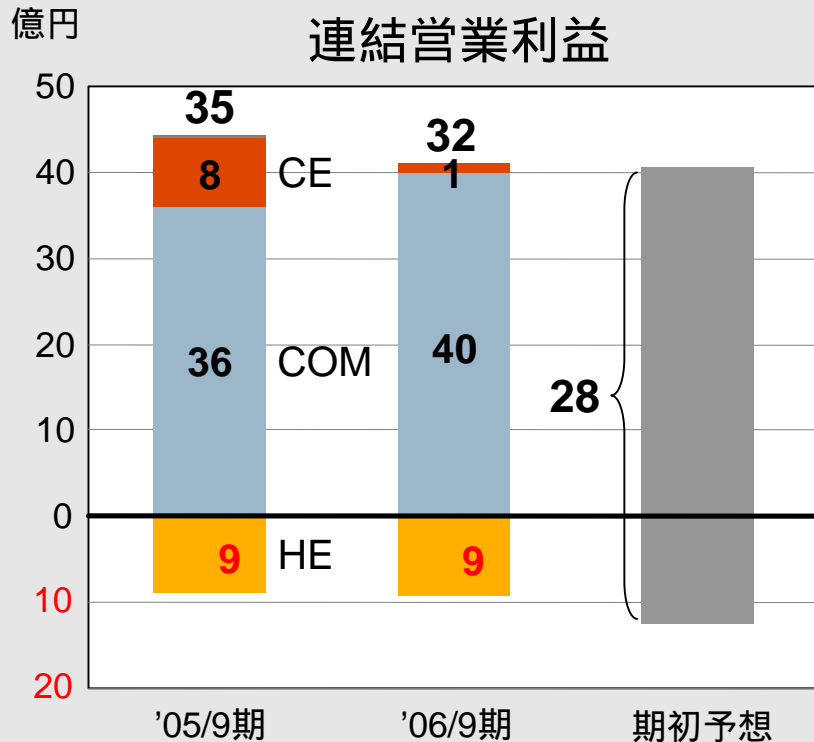


2. 2007年3月期中間決算概要 **連結営業利益**

* COM事業の増益がCE事業の減益をカバー

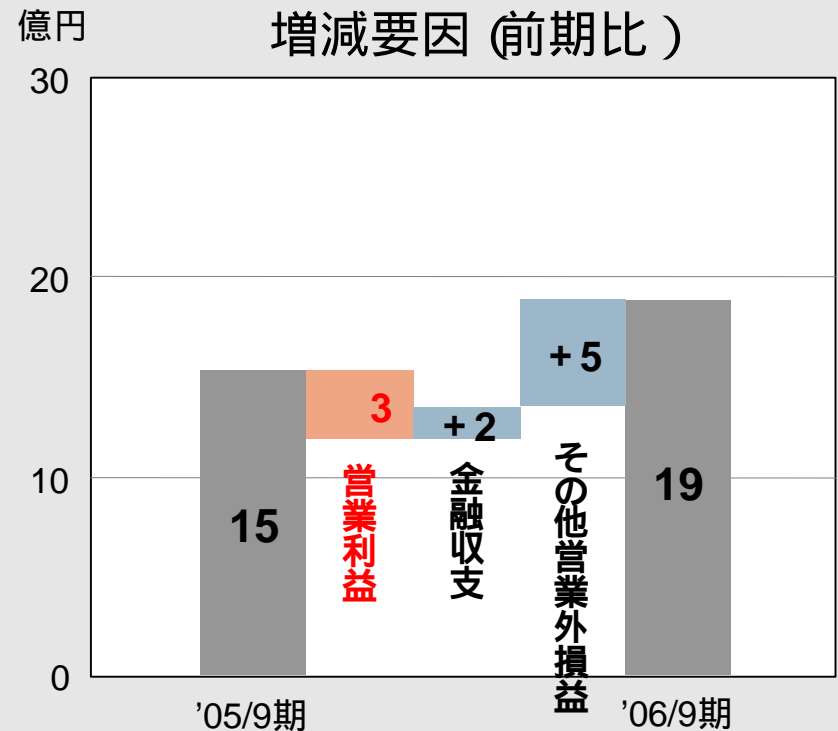
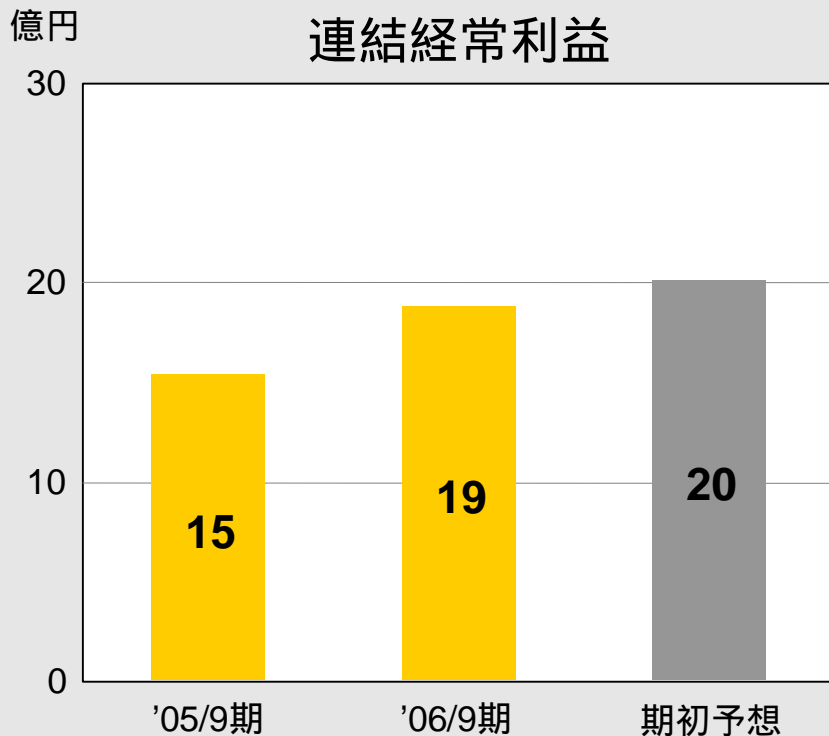
* HE事業は、売上減の中、戦略転換の効果で前期実績並み
 全社では前期比約3億円減 (9.9%減益)

期初予想比約4億円増 (13.8%増)はCOM事業の増益、HE事業およびCE
 OEM分野の損益改善が主要因



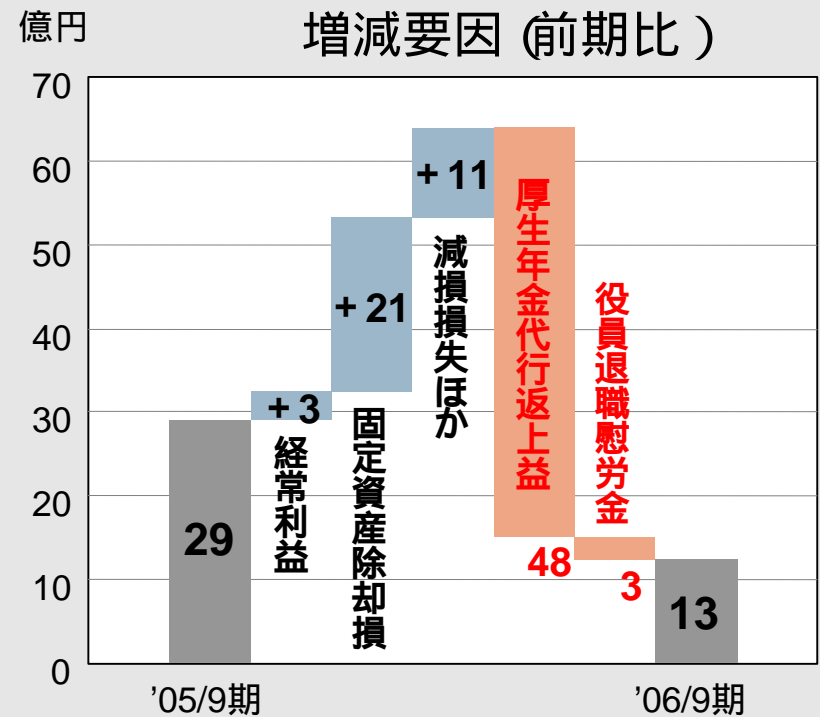
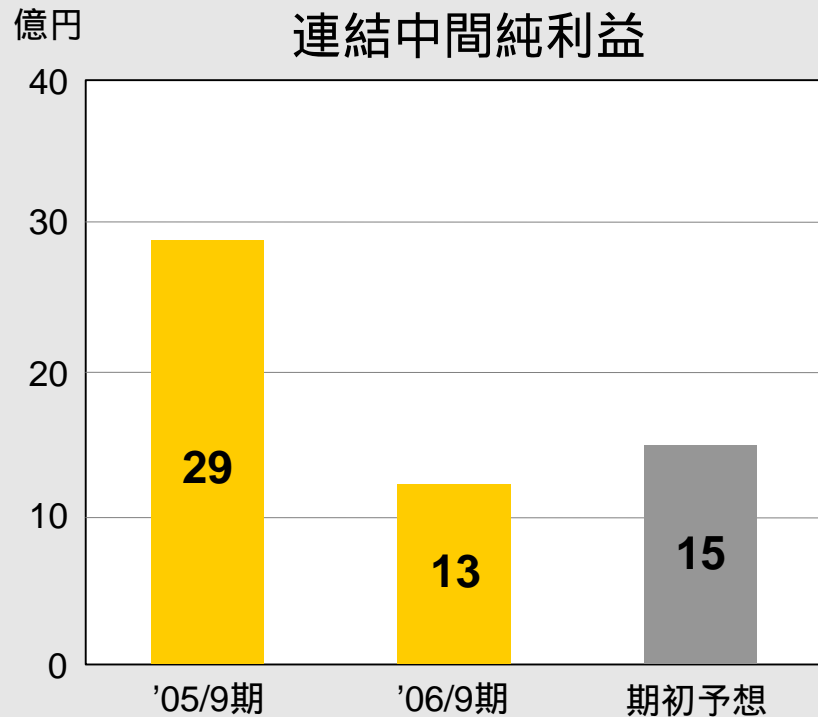
2. 2007年3月期中間決算概要 **連結経常利益**

* 前期の資産構造改革で営業外損益が大きくなり改善し、営業減益をカバーし、ほぼ期初予想通り、前期比約3億円増 (22.7%増益)



2. 2007年3月期中間決算概要 **連結中間純利益**

- * 前期の一過性特別利益 (厚生年金代行返上益約48億円) がなくなったものの
- * 前期の資産構造改革で特別損益は大きく改善
前期比約16億円減 (56.7%減益)にとどまった
- 期初予想比約2億円減 (修正予想比約3億円減)は役員退職慰労金制度廃止に伴う将来分 (取締役・監査役計11名分)を当中間期に計上したことが主要因



2. 2007年3月期中間決算概要 **バランスシート**

売掛債権の減少、利益剰余金の増加などにより、バランスシートは一段と改善

借入金の返済により、有利子負債やネットデットもさらに減少

(億円)

	'05/9期末	'06/3期末	'06/9期末	'06/3期末比
資本金	111	111	111	0
資本剰余金	134	134	134	0
利益剰余金	151	183	188	+ 4
純資産	324	375	382	+ 7
総資産	1,110	1,096	1,059	36
自己資本比率	29.2%	34.2%	36.0%	+ 1.8%
有利子負債	331	263	258	5
ネットデット	185	122	104	18

セグメント情報

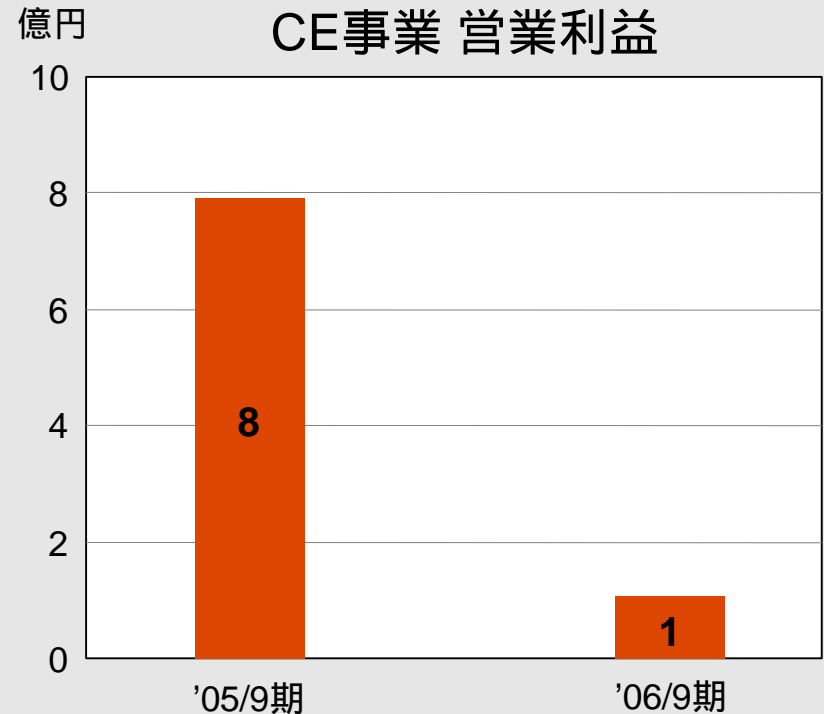
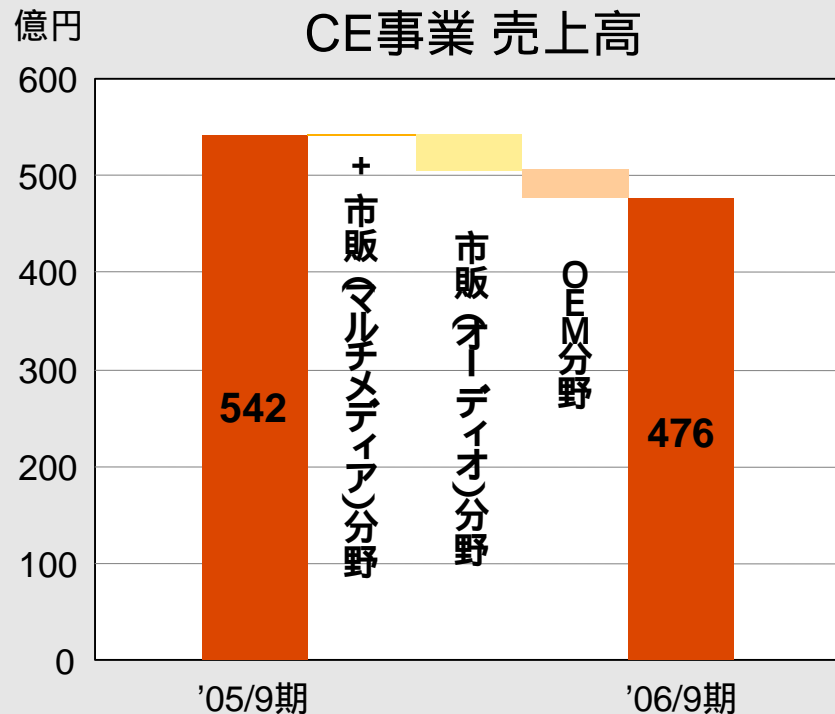
2. 2007年3月期中間決算概要 **CE事業**

【売上高】

- * 市販 (マルチメディア) 分野が増収
- * 市販 (オーディオ) 分野は市況悪化や競争激化の影響で減収
- * OEM分野は自動車販売動向の影響で減収

【営業利益】

- * OEM分野は上海工場での増産や生産移管で、売上減の中、損失減少
- * 市販 (マルチメディア) 分野は戦略開発投資の影響で損失拡大
- * 市販 (オーディオ) 分野が売上減の影響で減益



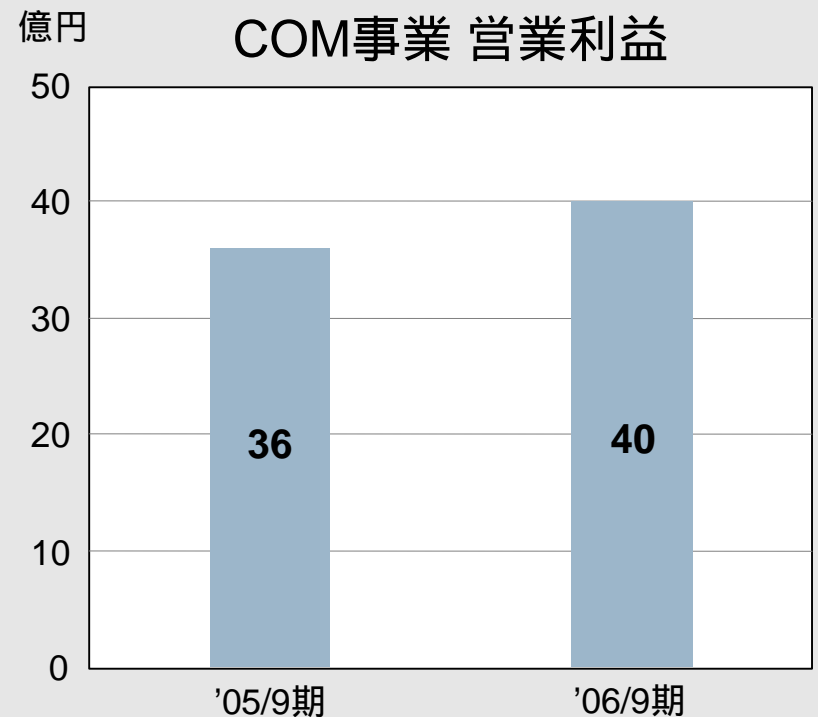
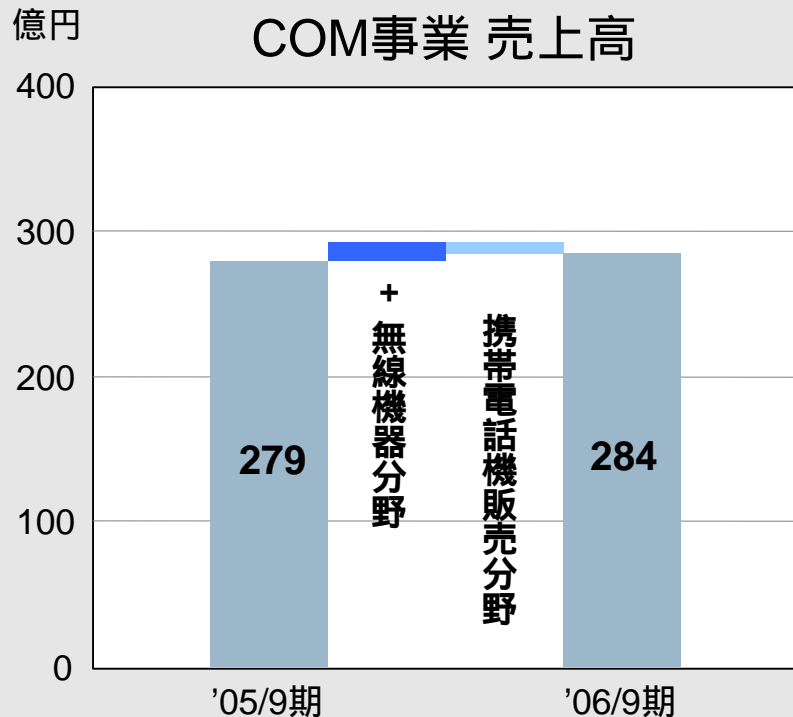
2. 2007年3月期中間決算概要 **COM事業**

【売上高】

- * 主力の業務用無線機器分野が米国市場で好調、欧州や新興市場でも販売拡大が進み増収
- * 携帯電話機販売分野は携帯電話事業会社の動向による影響で減収

【営業利益】

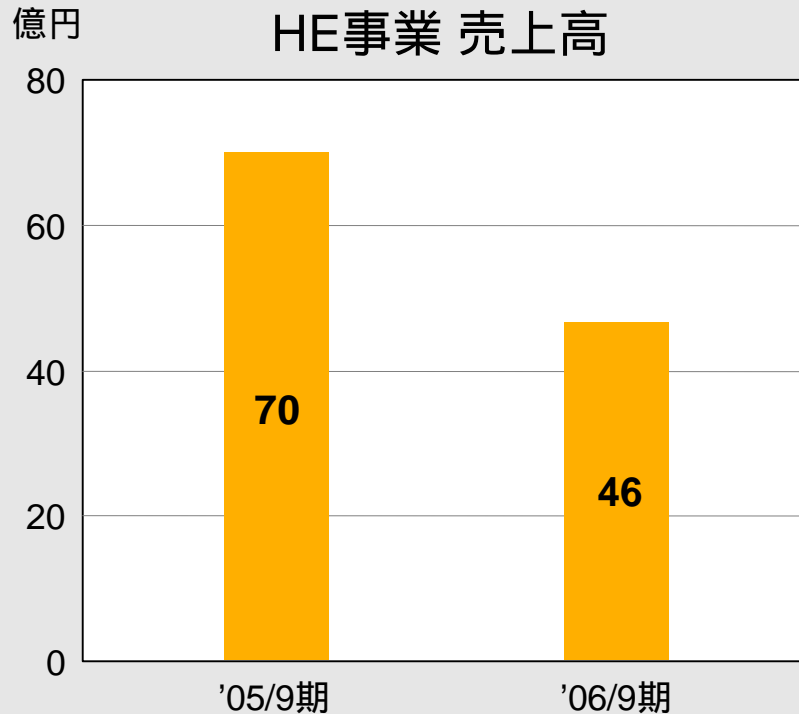
- * 売上増による収益拡大で増益



2. 2007年3月期中間決算概要 **HE事業**

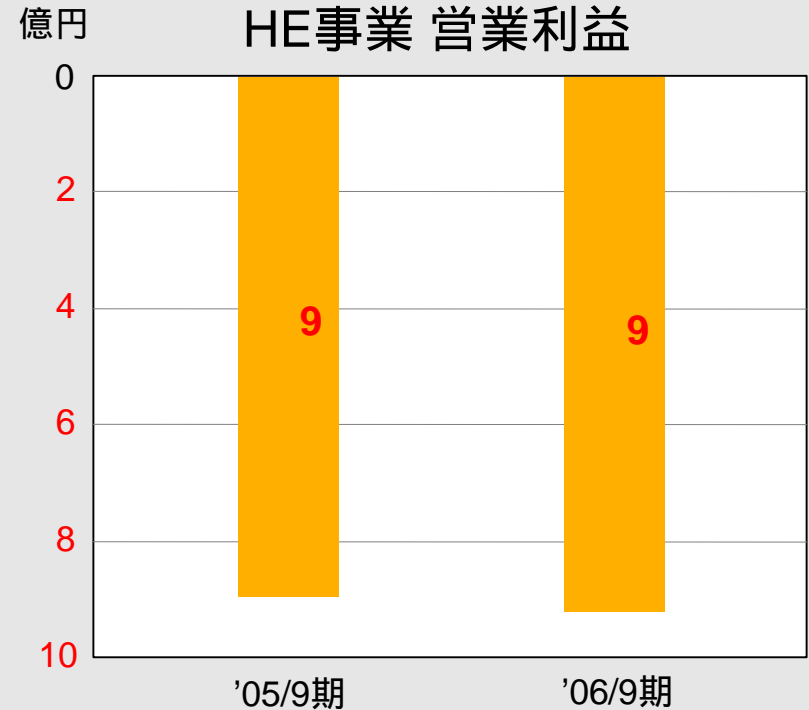
【売上高】

* ホームシアター分野や従来型オーディオ製品絞り込みの影響で減収



【営業利益】

* 高音質ピュアオーディオ分野 / ポータブルオーディオ分野への注力や従来型オーディオ製品絞り込みによる損益改善効果で、売上減の中、前期実績並み

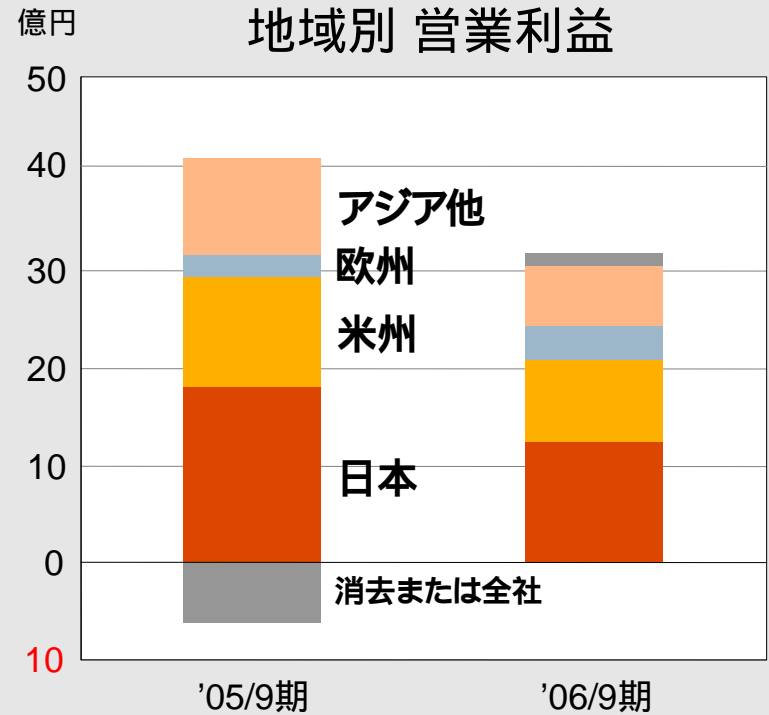
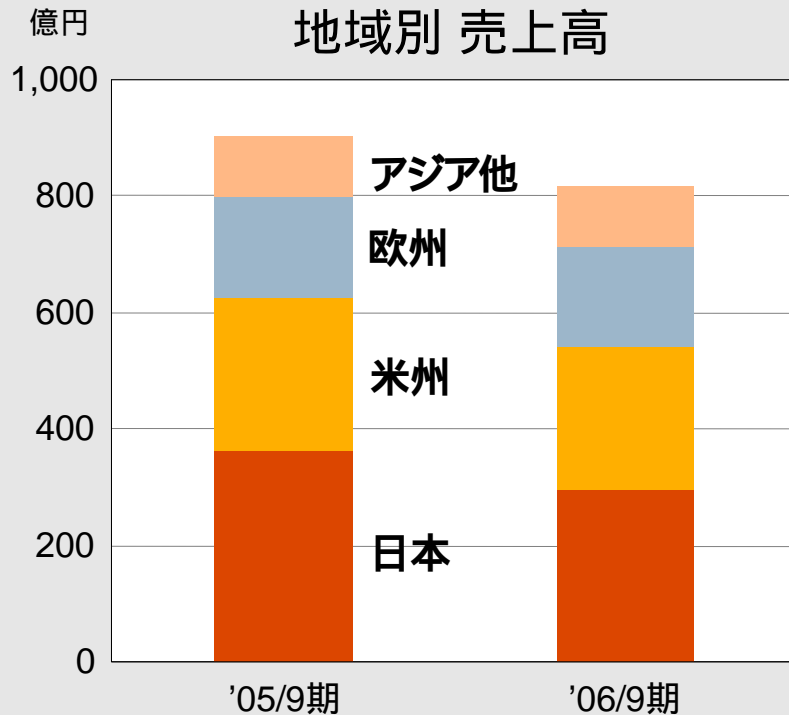


2. 2007年3月期中間決算概要 **地域別損益**

米州】 市販分野の減収減益をCOM事業がカバー

欧州】 市場環境は依然厳しいながらも売上・収益ともに改善

日本】 CE OEM分野、HE事業の売上減が収益にも影響



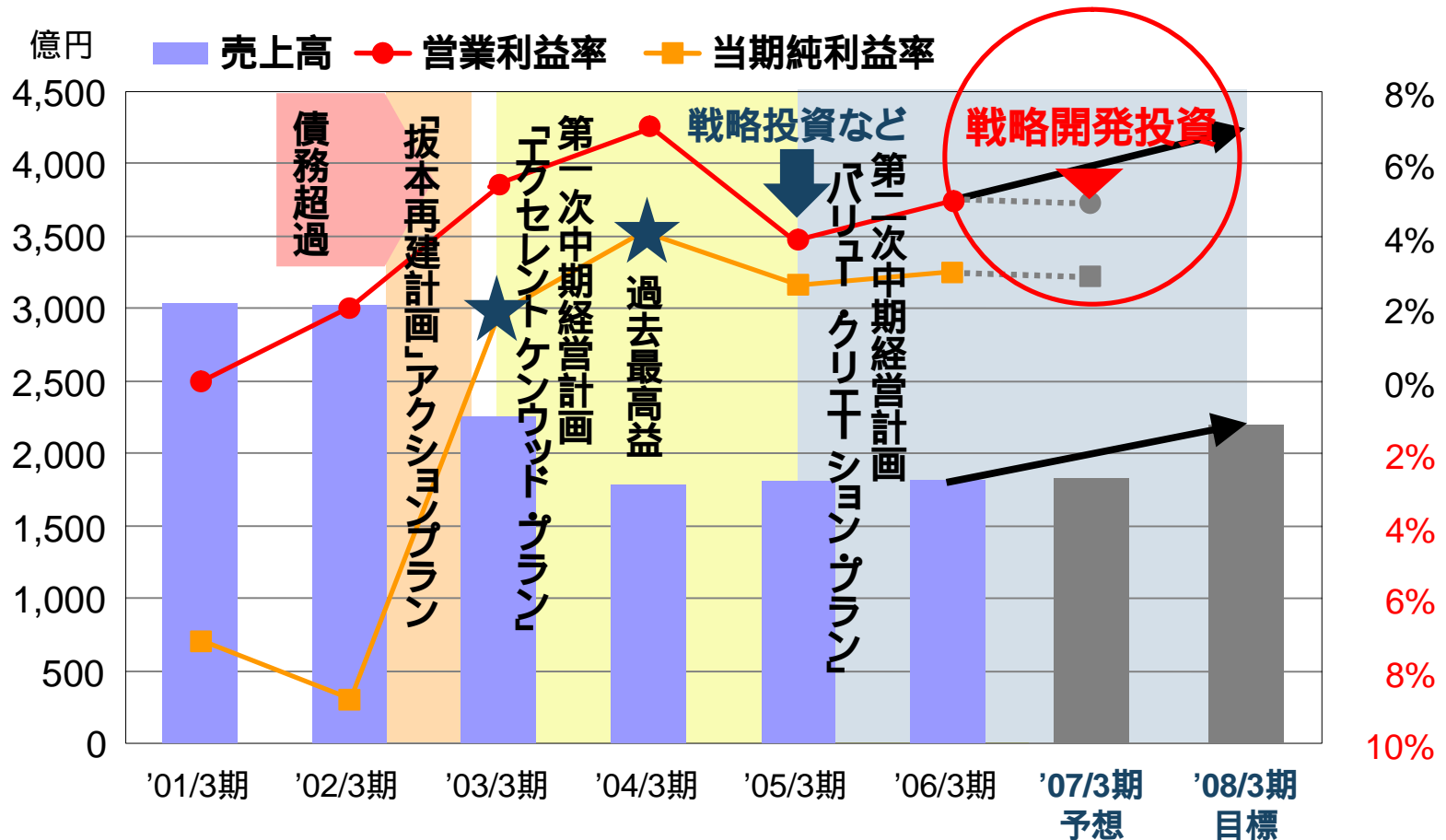
3. 2007年3月期の取り組み

① 戦略開発投資による事業競争力の強化

3. 2007年3月期の取り組み

(1) 戦略開発投資による事業競争力の強化

「バリュー・クリエーション・プラン」の中間年度にあたる当期は
来期の計画達成に向けて**戦略開発投資**を推進



3. 2007年3月期の取り組み

(1) 戦略開発投資による事業競争力の強化

CE事業 - 地上デジタルチューナー、2007年ナビ

市販 (マルチメディア)分野

- * ワンセグ (1セグ) 地上デジタル (12セグ + 1セグ) TVチューナー (第3四半期発売予定)
- * 地上デジタル放送チューナー搭載2007年モデルAV一体型ナビ (第4四半期発売予定)
- * 海外向け新コンセプトナビのアジア、その他地域展開



車載用ワンセグTVチューナー 車載用地上デジタルTVチューナー

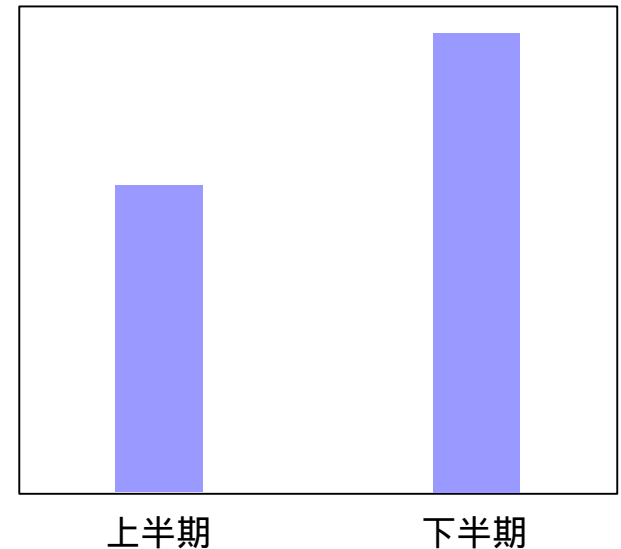


地上デジタルTVチューナー搭載 AV一体型ナビ (イメージ)



海外向け新コンセプトナビ

CE市販 (マルチメディア)分野の 売上推移



3. 2007年3月期の取り組み

(1) 戦略開発投資による事業競争力の強化

HE事業 - シームレス・エンターテインメント・ワールド

ポータブルデジタルオーディオプレーヤー「Media Keg」

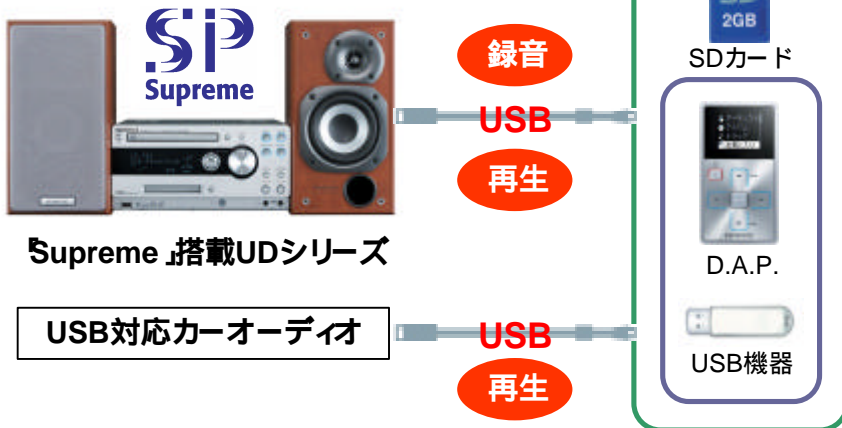
- * HDD 30GBモデル (9月発売)
- * メモリー1GB、2GBモデル (11月発売予定)
- * HDD小容量モデル (第3四半期発売予定)



ピュアオーディオ

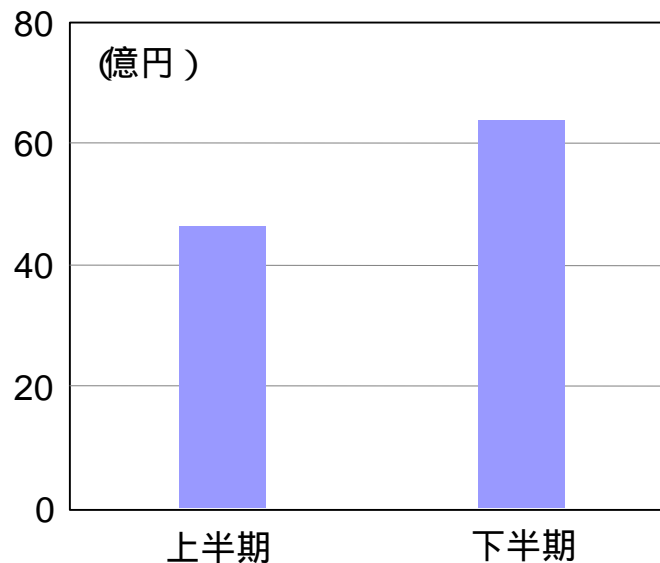
- * シームレス・ピュアオーディオ「UDシリーズ」(10月発売)
- * プレステージピュアオーディオ「TRIOモデル」とその量産モデル (第3四半期発売予定)

CDからデジタルメディアに4倍速録音



デジタルメディアの圧縮音楽も再生

HE事業の売上推移



* D.A.P. ... デジタルオーディオプレーヤー

3. 2007年3月期の取り組み

(1) 戦略開発投資による事業競争力の強化

COM事業 - デジタル無線機器

- * デジタル業務用無線機器の販売拡大
- * 米国での事業拡充と、欧州、アジア、新興市場での販売拡大
- * 山形、シンガポールに続く上海工場での生産開始



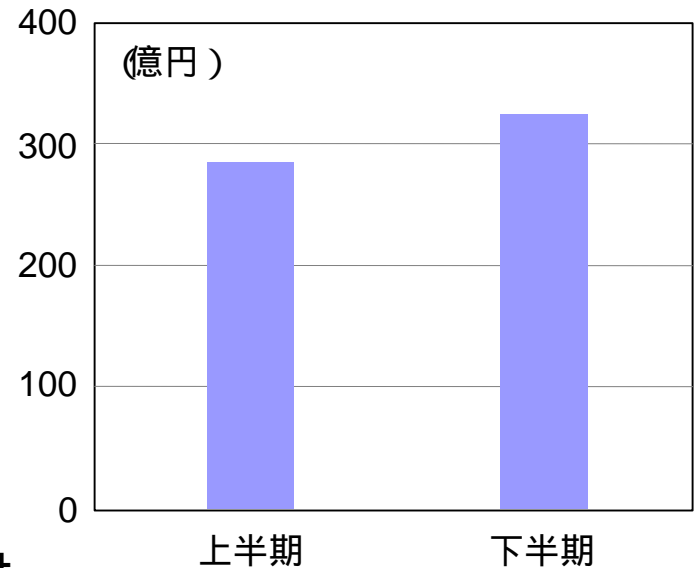
KENWOOD
Listen to the Future

新たなStrategic Alliance

アイコム株式会社

米トライデント・マイクロシステムズ社

COM事業の売上推移



②)コア事業の競争力強化

3. 2007年3月期の取り組み

② コア事業の競争力強化

CE事業 - 市販 (オーディオ) 分野

* 2007年新製品群の競争力強化とラインアップ拡充

* BRICsを中心とした新興市場の開拓と販売強化

2007年新製品
(イメージ)



D.A.P.やUSB機器



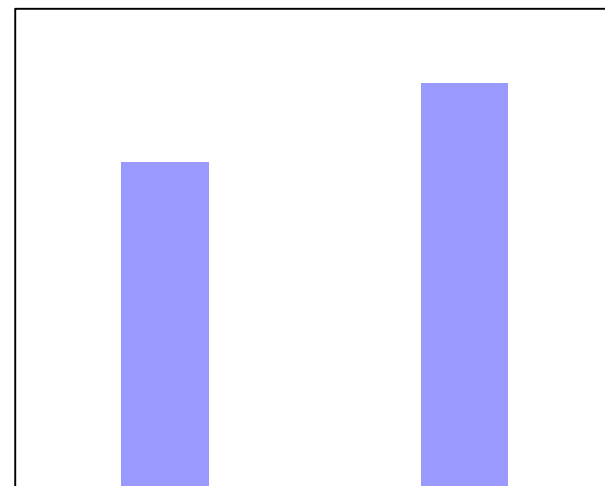
HD Radioチューナー



OEM+ (純正品への
アドオンシステム)

OEM+1000

CE市販 (オーディオ) 分野の 売上推移



上半期

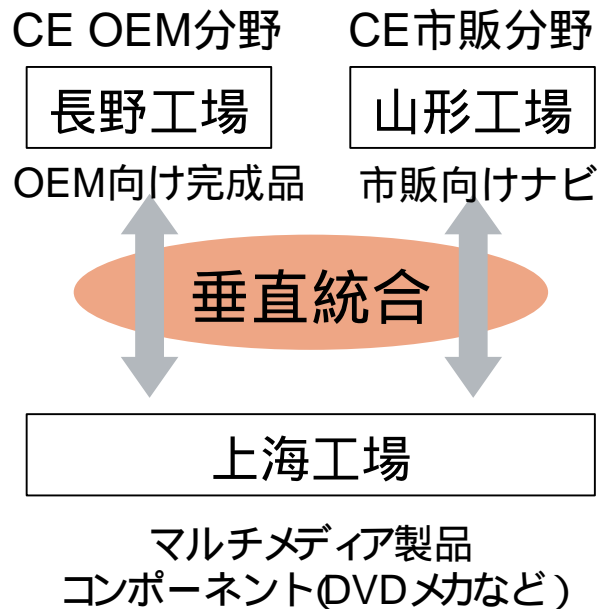
下半期

3. 2007年3月期の取り組み

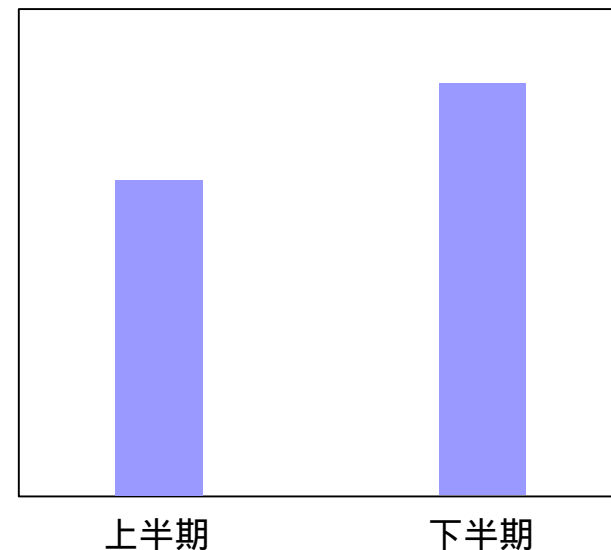
② コア事業の競争力強化 - CE事業

CE事業 - OEM分野

- * 上海工場での増産、国内工場からの生産移管を本格化
- * AV一体型ナビの販売拡大
- * 地上デジタルTVチューナー標準搭載新型ナビなどの投入



CE OEM分野の売上推移



3. 2007年3月期の取り組み

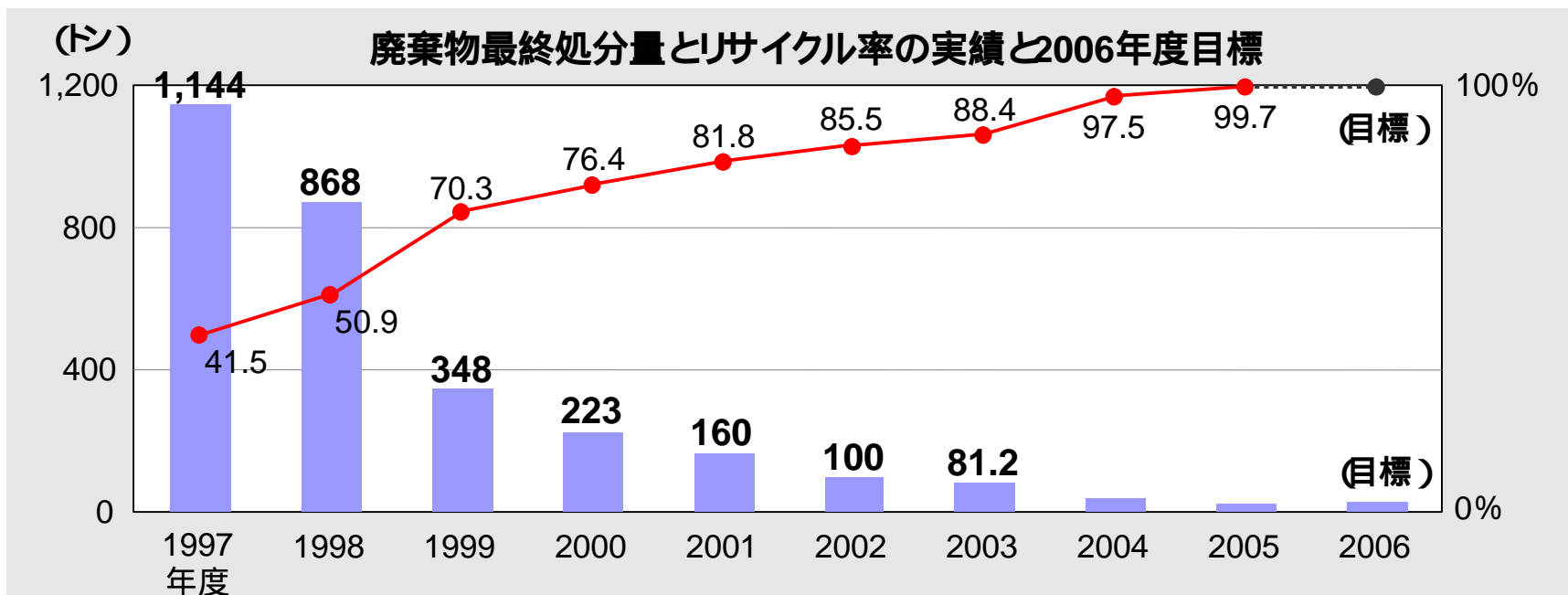
③ 環境保全の取り組み

すべての国内主要拠点において「廃棄物ゼロエミッション」を達成

(2006年7月～9月の間)

* 生産拠点だけでなく、本社拠点、開発・設計拠点を含むすべての国内主要拠点で達成

* 「2010年度廃棄物最終処分量、1997年度比99.8%以上削減」を目指す



3. 2007年3月期の取り組み

(4) 創立60周年記念キャンペーン

創立60周年記念キャンペーンによるビジネスプロモーションと ブランド・プレゼンスの強化

「音」と無線通信」の両分野で創立60周年記念「TRIOモデル」の商品化

- * アマチュア無線機器「TRIOモデル」(7月完売)
- * プレステージピュアオーディオ「TRIOモデル」(12月発売予定)
- * カーオーディオ「TRIOモデル」



アマチュア無線機器
60周年記念「TRIOモデル」



プレステージピュアオーディオ
60周年記念「TRIOモデル」
(コンセプトモデル)

4. 2007年3月期業績見通し

4. 2007年3月期業績見通し **連結損益**

【売上高】

各事業で売上拡大が進むことから、期初予想どおりの1,850億円を見込む

【営業利益】

各事業で収益拡大あるいは損益改善が進むことから、期初予想どおりの90億円を見込む

【経常利益、当期純利益】

一過性の営業外損益、特別損益が発生する見込みがないことから、期初予想どおり、それぞれ60億円、50億円を見込む

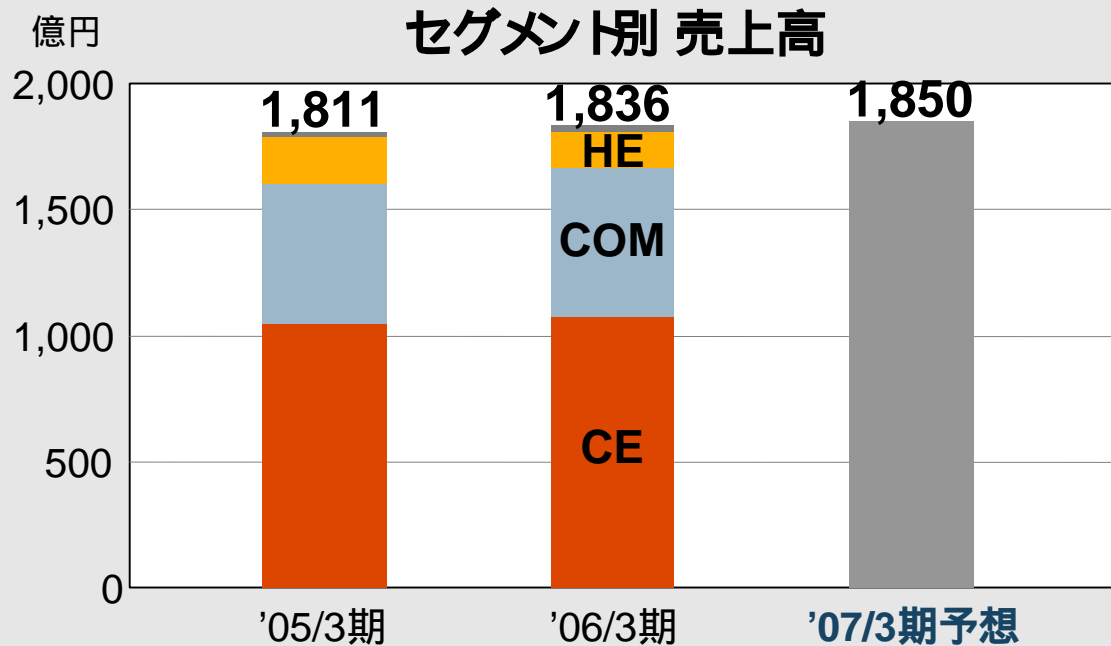
連結PL

(億円)

	'05/3期		'06/3期		'07/3期初予想		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	1,811		1,836		1,850		14	100.8%
営業利益	71	3.9%	87	4.7%	90	4.9%	3	103.6%
経常利益	47	2.6%	49	2.7%	60	3.2%	11	122.8%
当期純利益	48	2.7%	61	3.3%	50	2.7%	11	81.9%

4. 2007年3月期業績見通し **連結売上高**

- * COM事業は引き続き好調に推移
 - * HE事業は新製品群導入で拡大
 - * CE事業も市販分野での新製品導入、OEM分野での増産、販売増で拡大
- 全社の売上高は期初予想どおりの1,850億円を見込む



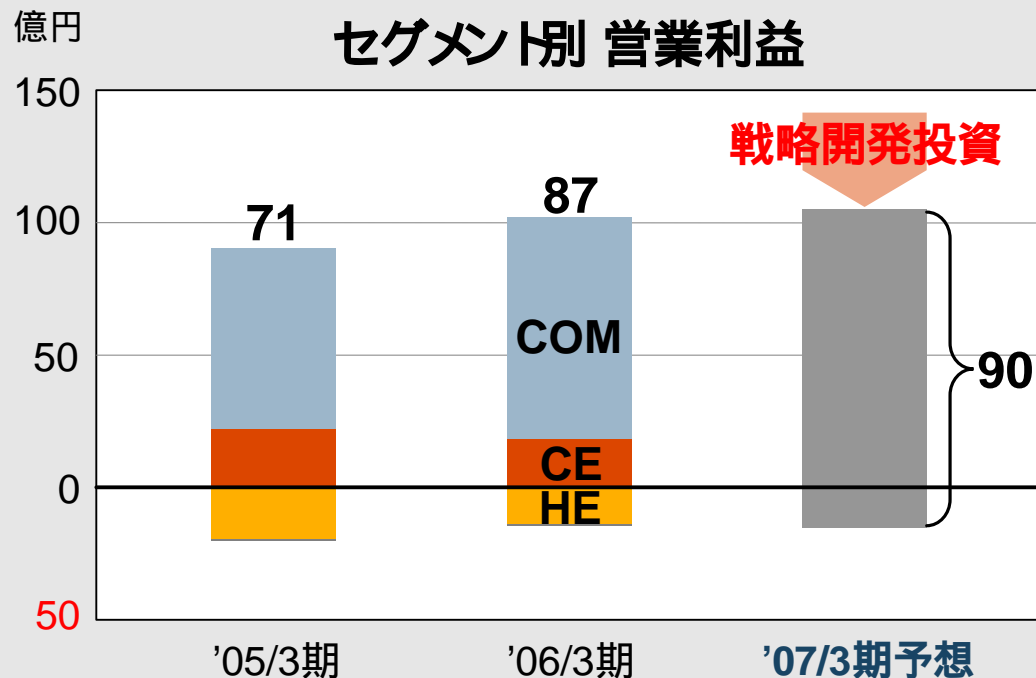
4. 2007年3月期業績見通し **連結営業利益**

* COM事業は好調維持

* CE事業は、市販商戦期での挽回、OEM向け売上拡大と損益改善で、収益拡大

* HE事業は高付加価値戦略の本格化で損益改善

全体の営業利益は期初予想どおりの90億円を見込む





KENWOOD

Listen to the Future